

令和4年度

# 学校関係者評価報告書

岡山自動車大学校

令和5年 10月 24日

岡山自動車大学校  
校長 原田公德 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 山本 茂

## 学校関係者評価報告書

令和4年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- 山本 茂 (学校法人第一原田学園 評議員)  
太田 賢志 (岡山トヨタ自動車株式会社 人事グループ マネージャー)  
松岡 正志 (岡山ダイハツ販売株式会社 人事部)  
水野 正和 (岡山ダイハツ販売株式会社 人事部 課長)

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和5年9月29日(会場 岡山自動車大学校 会議室)

#### 3 令和4年度学校関係者評価報告

学校関係者評価委員からの主な意見

(1)教育理念・目的・人材育成像 教育理念、教育目標、人材育成像など分かりやすく定められており、適切である。
(2)学校運営 組織運営については問題ないと思われる。 留学生の受け入れをしていない事、AO入試をしない事も特色の一つだと思ふとの意見あり。
(3)教育活動 在学生の心理状況把握の為、定期的にアンケートを実施したらどうかと意見あり。
(4)教育成果 評価項目を確認し、特に提言なし。
(5)学生支援 今後、県外や遠方からの応募が増える事も予想できるが、寮などの設備は充分かとの質問あり。

**(6)教育環境**

生徒の安全の為、災害時の避難場所等の情報共有をしておく必要があるとの意見あり。

**(7)学生の受入れ募集**

他の学校に比べ学費が安いことが周知できているのかと質問あり。

**(8)財務**

評価は適正で特に問題ないと思われる。

**(9)法令等の遵守**

評価項目を確認し、特に提言なし。

**(10)社会貢献・地域貢献**

評価項目を確認し、特に提言なし。

**総括**

評価は変更ないが、全体としては特に問題はなく、適切に評価されている。  
もっと評価が高くてよい項目もある。

今後も継続して適切な学校運営をしていただきたい。

## 学校関係者評価委員会からの意見をうけて学校の今後の取組み・改善

### (1)教育理念・目的・人材育成像

一級に関して令和3、4年3月の試験では惜しくも100%合格を逃した。問題難易度の変化に関わらず、合格率をキープしていきたい。  
コロナの影響で中止となっていたアメリカ研修を再開、令和5年度の行き先はハワイとする。  
その他学校行事も臨機応変に正常化していきたい。

### (2)学校運営

令和4年度は、ほぼ計画通りに学生募集ができた。次年度も計画通りに推進できている。  
現状、留学生受け入れを考えてはいないが、将来的には検討していきたい。

### (3)教育活動

全国自動車大学校・整備専門学校主催の教員研修で教員のスキルアップを図っている。  
研修対象の年齢制限が撤廃になるので、さらに積極的に参加していきたい。  
入学後ハイパーQUを実施し、生徒の心理状況・傾向を把握している。  
その後は担任のみではなく、全ての教員で生徒指導にあたっているため、対面にて生徒の状況を把握、対応している。アンケート実施がベストだとは考えていない。  
その為、アンケート実施については現状維持とする。

### (4)教育成果

令和4年度の退学者は3名である。他の学校に比べ、非常に退学者が少なく適切に指導出来ていると思う。引き続き取り組んでいきたい。

### (5)学生支援

学生募集は自宅通学圏内の学生を対象としている。寮を増設すると、今後過剰設備になる恐れがある為、現状維持とする。  
寮が満室の場合は、近隣にアパートもあるので問題ないと考えている。  
日本学生支援機構奨学金を多くの学生が利用しており、修学支援の機関要件も問題がない。

### (6)教育環境

コロナで避難訓練を見送っていたが、防災意識の共有を図っていききたい。  
現在の学生の在籍状況を考えると、国交省の基準は満たしているが、手狭になっている。  
EV実習棟を建設中なので、今後は余裕をもって実習ができる。

### (7)学生の受入れ募集

学生が進学先を検討している時、学費の面でも他の学校と比較検討していると思う。  
募集要項等にも情報公開しているので、問題ないと思う。  
光熱費高騰や人件費の事もあがるが、現状では学費値上げは見送りとする。  
今後、学費値上げは重要検討事項として考えていきたい。

### (8)財務

引き続き、健全な財務状況を維持していく。

### (9)法令等の遵守

情報収集を怠らず、臨機応変に対応できるようにしていきたい。

**(10)社会貢献・地域貢献**

社会貢献であるボランティア活動は、生徒の自主性に任せている。  
校内献血活動については、引き続き継続して行っていく。

**総括**

学校関係者委員からの評価は良好であり、本校の自己評価は適切であると考えられる。

今回の委員会では前回の委員会と比較し、提言等は少なかった。そういった中で委員から出された意見に関しては教職員一同真摯に受け止め、対応・改善していきたい。

委員の意見・提言がより出しやすいように評価項目自体も今後も常に見直していきたい。